

速やかに検討すべき課題

～持続可能な高速道路システムの構築に向けて～

速やかに検討すべき課題 ～持続可能な高速道路システムの構築に向けて～

国土幹線道路部会 「持続可能な国土幹線道路システムの構築に向けた取組」

中間とりまとめより（令和2年9月25日）

(1)これまでの新たな料金体系の導入、更新事業の実施に対する評価

- ・新たな料金体系（H26 全国、H28 首都圏、H29 近畿圏）及び更新事業について、定量的な分析・評価を実施し、課題や新たな知見等を整理
- ・上記を踏まえ、今後の料金体系、更新事業のあり方について継続的に検討

(2)自動運転時代、ポストコロナ時代の高速道路の将来像の具体化とロードマップの作成

- ・自動運転の普及を含む社会・生活様式の変化や自然災害の激甚化・頻発化等の環境変化に対応した道路の将来像について検討
- ・中長期的な高速道路の姿を具体化した上で、その将来像の実現に向けたロードマップを早急にとりまとめ

(3)社会・経済状況に応じた機動的な料金、利用者重視の料金の推進

- ・混雑の緩和等を図るため、社会・経済状況に応じて機動的な料金変更を可能とする仕組みを構築
- ・利用者重視の料金体系の推進に向けて、公平性の観点から対距離制を基本としつつ、交通渋滞の抑制に留意した上で、高速道路の交通分担率を引き上げるために必要な料金低減に向けた努力を継続

(4)(1)から(3)を踏まえた、安定的な維持管理・更新・機能強化等による 高いサービス水準を維持するために必要なシステムの在り方

- ・(1)から(3)における検討の結果を踏まえ、高いサービス水準を維持するために将来的に必要となる維持管理・更新・安全安心等のための機能強化等の取組方針と、そのために必要な制度を速やかに整理
- ・特に、高速道路は一般道路と比べて高いサービス水準を有することを踏まえ、償還満了後も料金を永続的に徴収することも含め、必要な財源を確保するための措置を検討し、具体化
- ・高速道路の無料区間についても、将来にわたり、高いサービス水準を維持し、必要に応じて機能強化を図りつつ、適切な維持管理・更新を実施するために必要な税負担を軽減する観点等から、地域の意見を聴取した上で、有料化について検討